

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	10	課題区分	C	令和7年5月1日	
横断的な課題	観光誘客や移住者増加につながる地域の魅力を高め、発信する						
地域重点政策	2 観光誘客や移住者増加につながる地域の魅力を高め、発信する						北アルプス地域振興局
実施機関	北アルプス地域振興局			担当課	所属	企画振興課	農業農村支援センター
事業名	北アルプス地域「農ある暮らし」推進事業				電話	0261-23-6501	0261-23-6510
					E-mail	kitchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	kita-aec@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	農ある暮らしに関心を持つ移住者、定年帰農者等、農作物づくりを生活に取り入れている地域住民をサポートし、理想とする農ある暮らしを実現できる地域づくりを目指す。 また、こうした取組を北アルプス地域の魅力として情報発信することで、移住者など地域に人を呼び込むことを目指す。					
	現状と課題	移住希望者への情報発信において、北アルプス地域の魅力の一つとして「農ある暮らし」を挙げているが、実際に農ある暮らしを送るに当たり、技術的な悩みなど専門家に相談したいといった声が聞かれる。安心して農ある暮らしを送ることができる移住後のサポート体制づくりが求められている。 R5年6月から栽培技術に特化した相談会を定期的に行うこととしたが、農繁期までの広報が行き渡らなかったこともあり利用が伸びなかったため、対象者に情報が届くような周知が課題である。					
	内容 (変更後の内容)	＊県とJAとの連携協定に基づく取組として、JA大北と連携して実施する。 ○農ある暮らしサポート直売所設置事業 実施場所 JA大北農産物直売所「ええっこの里」 事業内容 ①栽培技術等に関するサポート(農ある暮らしサポート相談会) ②移住・観光情報の提供(北アルプス地域移住・観光インフォメーション) 市町村と連携し、移住者や移住希望者を対象としたDM等で取組内容の周知を図る。 ○北アルプス地域農ある暮らし魅力発信事業 「農ある暮らし」事例紹介動画やリーフレット等を活用し、当地域の魅力として「農ある暮らし」を発信する。					
	事業期間	令和6年4月 ～ 令和7年3月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	農ある暮らしサポート直売所設置事業	サポート直売所の設置	145,200	委託料(12節) 業務委託費@12,100*12月			
	合 計		145,200				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	農ある暮らしサポート相談会 開催回数		24回	24回	○ 達成		
	農ある暮らしサポート相談会 相談対応件数		36組	16組	● 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	・月2回、原則第2、4水曜日(8月は3回、9月は1回)と日程を決め、広報したことで、令和5年度より相談件数が増えた。(令和5年度相談対応件数:11組)						
今後の方向性	農繁期において需要はあるため、引続き、相談会を開催する。利用数の実績を確認しながら、次年度以降の実施期間や実施回数の判断を行う。						